

中山 11 発走 40

Main race table with columns for race number (16桃, 15, 14, 13, 12, 11, 10, 9, 8, 7, 6, 5, 4, 3, 2, 1), horse names, jockeys, trainers, and various performance metrics.

新王者 ビッグアーサー。本格化を印象付ける2連勝。とりわけ58

逆転がある。トG連覇へ視界は良好。トG連覇へ視界は良好。トG連覇へ視界は良好。

キロを背負って後続を完封した前走は圧巻。あの走りならも幅を增して、春秋スプリンターG連覇へ視界は良好。

ミッキキアイル。国内の千二一の好走だが、本来は行つてこそ馬が全7勝が逃げ切り。今回の顔ぶれならその形に持ち込める公算大。

上位圏内 スノードラゴンは14年新潟開催の王者だが、中山も2③着とコソスOK。衰えも②③着。斤量差に泣いたが、千二

本紙の見解 スプリント王アーサー. 3歳4月デビューのビッグアーサー。芝千二では通常算8201。資質の高さで好走を続けたが、芯の弱さはどこかに残っていた。その不安が解消し、能力全開となったのはこの春から。高松宮記念はレコードの快勝だったし、セントウルSは58キロを背負っての圧勝。今が充実期とみて、中心視。態勢整ったミッキキアイルが相手。【単有望】

柏木の単連. 飛ばず快走系がいない組み合わせ。本物になり、道中の位置は問われないビッグアーサーは、苦もなく好位のイン確保が可能。再度自分で行ってほしい。相手味方⑦と⑭。

確定前情報. 初の中山にも対応できる。伏兵は。馬体維持なら。二戦三勝。馬体維持なら。二戦三勝。馬体維持なら。

3連複. 過去の実績 コース適性 最近の成績 攻め馬状態 連番 連日 連月 連年

グリーンチャンネル解説者

黒津 紳一 **桧原 正行**

この枠を引いて展開微妙だが、ビッグアーサーのような行かなければ前回のように行くの持ち味である。非凡なスピードで殺さず、競馬ができれば勝機濃厚だろう。

高松宮記念を快勝し、秋初戦のセントウルSでは58キロを背負って初の逃げ切り勝ちを取った。スプリング能力に一段と磨きがかかった感があり、ここも主役の座は不動。

中山 11R TMイチ推し 5 シュウウジ
中間は好稽古を連発 充実ぶりが光る

11R 1000 800 600 200 馬脚いろ

1 ビッグアーサー 栗坂 助手 51.9 37.0 12.2 一杯追
21栗坂助手 530 377 122 一杯追 28栗坂助手 525 379 128 一杯

2 プランボヌール 栗坂 助手 65.5 51.1 38.0 12.3 馬なり
15栗坂助手 525 381 127 末強め 21栗坂助手 540 389 130 末強め
25栗坂助手 569 413 138 馬なり 29栗坂助手 541 392 131 一杯追

3 ティーハーフ 栗坂 助優 51.6 37.4 12.5 一杯
21栗坂助優 535 388 130 一杯追 28栗坂助優 529 382 121 一杯

4 ソルヴェイ 栗坂 助手 67.2 51.4 37.4 12.7 馬なり
15栗坂助手 551 407 132 馬なり 22栗坂助手 547 398 122 一杯先

5 シュウウジ 南W不 66.0 50.7 37.6 12.2 杯追先
15栗坂助手 516 374 121 馬なり 21栗坂助手 520 377 118 杯追先
26栗坂助手 549 394 122 馬なり 29栗坂助手 511 371 124 強めに先

6 ベルカント 栗坂 助手 52.9 37.7 11.8 強めに先
7 栗坂助手 555 400 124 馬なり 11栗坂助手 581 420 140 馬なり
15栗坂助手 505 367 120 一杯追 18栗坂助手 585 426 143 馬なり
22栗坂助手 510 369 122 一杯追 29栗坂助手 525 375 121 馬なり

7 レッドアリオ 栗坂 助手 52.7 38.8 12.3 馬なり併
23栗坂助手 540 395 125 馬なり 28栗坂助手 511 375 126 前強

8 サクラゴス 南W稍 52.6 38.1 12.2 杯追
11栗坂助手 556 408 136 馬なり 15栗坂助手 522 376 126 一杯先
18南W助手 56.1 41.2 13.0 馬なり 22南W助手 6F83.5 68.2 53.9 40.1 13.4 一杯追
25栗坂助手 556 396 132 馬なり 28南W助手 52.2 38.6 13.0 馬なり

9 サトルババ 栗坂 助手 52.6 39.1 12.3 馬なり
18栗坂助手 575 411 126 馬なり 29栗坂助手 540 389 132 前追
21栗坂助手 532 390 138 馬なり 28栗坂助手 540 389 132 前追

10 レッドアリオ 栗坂 助手 54.3 39.3 12.3 一杯追先
25栗坂助手 522 383 124 馬なり 28栗坂助手 543 387 120 馬なり併

11 ダンスディレクター 栗坂 助手 54.2 39.3 12.1 一杯追先
21栗坂助手 553 405 129 馬なり 25栗坂助手 68.5 53.1 39.9 12.2 馬なり
28栗坂助手 539 395 121 強めに

12 レッツゴー 栗坂 助手 67.4 51.0 36.2 11.8 馬なり
15栗坂助手 532 390 131 馬なり 18栗坂助手 561 414 128 馬なり
22栗坂助手 530 379 119 末強め 28栗坂助手 540 378 119 末強め

13 レッドファ 南W稍 55.7 40.1 12.9 馬なり併
8南W助手 70.0 54.1 39.9 13.7 杯追先
14南W助手 6F87.8 71.2 55.7 41.0 13.3 馬なり先
17栗坂助手 547 393 126 馬なり 21南W不吉田豊 6F84.1 68.3 53.5 38.7 13.0 直一杯先
28南D助手 63.3 49.2 36.2 11.7 強めに先

14 ウリウリ 栗坂 Mデ 52.9 37.9 12.1 馬なり
23栗坂助手 538 393 122 馬なり 28栗坂助手 64.2 48.5 35.5 11.8 強めに先

坂路時計の見方

21栗坂助手 554 405 132 一杯追

1 = 日付 2 = タイム(ゴールから逆算、800m・600m・200m。スペースの都合上、小数点は省略)
6 = 脚色(先着・併入・遅れ)

5 シュウウジ
須貝尚師の着続きでも見せ場は十分だった。中間の動きが

4 ソルヴェイ
鞍馬師前走はタイムイングが合わずに出遅れたが、本来スタートに速い馬。札幌から来るとして、状態は落ちたが力を出せて好位でスムーズに運びたい。

3 ティーハーフ
状態が上がってきた

2 プランボヌール
白倉助手前走プラス20キロだったが、さらにムチムチして最高のいい体つき。輸送競馬になるが、カイバも食べている。デキはいい。強力古馬との戦いになるが、切れる脚はある。

1 ビッグアーサー
3歳でこのレースは厳しいが、斤量は軽いいし、坂のあるコースの千二は合うと思う。

10 ベルカント
角田師のいい調整ができてきたが、今年はいろいろな工夫しているので、今年はいろいろ工夫している。帯同馬もいるからいい雰囲気だ。夏の3回使ったが、前はよりキロ軽くなるのは好材料。

9 サトルババ
能力は高い

8 レッドアリオ
前走は収穫

7 スノードラゴン
高木登師「ジョッキーとも真ん中の枠がいい」と話していたので、理想の枠が引けた。土曜は雨予報なので、少しでも濡り気は残って欲しいね。

6 ベルカント
尾関師「金曜も走りに力が見られなかったし、順調な仕上がり。自在性が武器のこの馬に引けた」と思う。内馬の出方を狙って来た。計が掛かったことが幸いしたが、今年もスローがありそう。

5 シュウウジ
追い日ごとに好稽古。精神面の成長も大きく充実。

4 ソルヴェイ
橋口慎師「追い切りは変わらずいい動きだし、体つきを見て他馬を気にせず、集中して走れる」

3 ティーハーフ
梅田智師「外すぎない偶数枠で、悪くないからコンタロールが利くようになってきたし、それをレースで生かされたいね」

2 プランボヌール
田代助手前走は色々行ってきたが、大きくは負けていない。C.B.C賞は雨馬問題ない。巻き返しは昨年のスプリンターズS。6歳牝馬がクラスの壁を破れるか。

1 ビッグアーサー
音無師「力を出せる態勢に持ってきた」と思う。好位でも問題ないから決めるか。少しは馬場悪化は問題ない

16 ネロ
雨が残る馬場なら

馬番連復オッズ

1-11 13.7 102 18.9 12.6 29.2 35.2 61.9 90.2 61.9 12.0 10.2 20.9 13.2 32.9 15 7.4 18.8

2-11 9.99 109 9.99 9.99 9.99 8.7 8.7 7.4 7.4 10.1 8.8 8.8 5.8 4 118 5 76.0 224 7 302 8 468 10 428 9 95.6 11 130 12 137 14 270 15 70.3 16 145 8 384 9 616

11-11 61.0 145 15 145 51 51 10 51 11 51 12 51 13 51 14 51 15 51 16 51 17 51 18 51 19 51 20 51

11-11 450 999 446 645 309 999 421 579 414 887 372 966 83.5 51.4 192 53.5 124 84.1 190 187.3 203 113 38.9 86.7 122 249 46.6

スタップ予想

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
71	82	74	72	80	77	75	73	80	83	78	71	73	72	84	80
...

質 脚 能力 持久力 若中大 全成績 成ク 当ラ 続ス 該時 対時 最高 体重 最低 体重

16 ネロ
雨が残る馬場なら

紙面表記の変更について

新システムへの移行に伴い、今期から紙面での表記を変更しました。『リカー着用』は騎手の負担重量欄に、『関西馬』は厩舎名を括弧をいずれも白抜き表記で示してあります。

新システムへの移行に伴い、今期から紙面での表記を変更しました。『リカー着用』は騎手の負担重量欄に、『関西馬』は厩舎名を括弧をいずれも白抜き表記で示してあります。

競馬人情 吉川良

第50回スプリングステークス。ビッグアーサーが断トツ人気になるだろう。

高松宮記念で、セントウルSでビッグアーサーの強さを見ていて、その父サクラバクシンオーの勇姿がよみがえってきた。サクラバクシンオーには私だけの別名がある。オッタマゲータという名だ。

1994(平成6)年、前年に続いてバクシンオーは、小島太騎乗でスプリングステークスを勝ち、引退レースのオマケつき。そのレースの数日前に私は、サクラバクシンオーと境勝太郎調教師に美浦トレセンで会っていた。初の国際GIになって、

アメリカから18戦14勝のソビエトプロブレムがクリス・マッキヤロン騎乗で参戦するので、それが話題の大半になった。

しかし、サクラバクシンオーは圧勝で引退の花道を飾った。レース直後の地下馬道で私と顔が合った境勝太郎調教師は、「オッタマゲータ」と口にしておでこを叩いてみせた。それで私はサクラバクシンオーに、オッタマゲータという別名をつけた。

さて、思い出と馬券は別にしておき、オッタマゲータが父のベルカントから狙ってみようというのが、馬券老人の冒険だ。

⑥の単。馬単⑥①の1点勝負だ。

もしも、もしもだよ。冒険が成功したら、私のことも、オッタマゲータと呼んでほしい。

競馬集の馬

海外競馬では馬番とゲート枠番が違おうという点、同じオナーの馬は全て同じ馬番にカップリングされる点、馬体重も調教タイムアメリカではレーシングフォームに掲載も計測されない点。◎▲△といった予想がない点、下見所をぐるぐる廻ってくる点とは限らない点、オナー取りが何時でもスクラッチ(出走取り消し)が可能など多数多、日本の競馬ファンには馬券検討の楽しみが損なわれる面もあるだろうが、基本的な能力を争うのが競馬という考え方なので、遠く日本でも馬券を買うのも現地で買うのも変わらない。ポストボンドの強さはドゥラメンテとの対戦で日本にも良く知られている。タフな血統で連続継続。

スプリングステークス 過去10回の成績

開頭	馬名	性	斤	騎手	勝率	通過	人馬	勝連
18	タイクオーバーク	牝	57	藤田	1.08	1	1	420
13	マイショウボラー	牡	57	永浦	23	1	1	5920
12	タガノバスター	牡	55	藤田	1.08	1	1	10590
19	ワンダー	牡	55	川	1.09	1	1	560
17	ワンダー	牡	55	川	1.09	1	1	1180
16	ワンダー	牡	55	川	1.09	1	1	2490
20	スリム	牡	55	上	1.08	1	1	240
14	スリム	牡	55	上	1.08	1	1	790
15	スリム	牡	55	上	1.08	1	1	1300
21	スリム	牡	55	上	1.08	1	1	2140
19	スリム	牡	55	上	1.08	1	1	5630
22	スリム	牡	55	上	1.08	1	1	2930
17	スリム	牡	55	上	1.08	1	1	9900
16	スリム	牡	55	上	1.08	1	1	22400
23	スリム	牡	55	上	1.08	1	1	1120
12	スリム	牡	55	上	1.08	1	1	13030
15	スリム	牡	55	上	1.08	1	1	30430
24	スリム	牡	55	上	1.08	1	1	410
14	スリム	牡	55	上	1.08	1	1	550
16	スリム	牡	55	上	1.08	1	1	1170
25	スリム	牡	55	上	1.08	1	1	130
10	スリム	牡	55	上	1.08	1	1	400
12	スリム	牡	55	上	1.08	1	1	530
26	スリム	牡	55	上	1.08	1	1	4650
19	スリム	牡	55	上	1.08	1	1	7360
18	スリム	牡	55	上	1.08	1	1	26040
27	スリム	牡	55	上	1.08	1	1	440
12	スリム	牡	55	上	1.08	1	1	5550
15	スリム	牡	55	上	1.08	1	1	9090

日本馬の凱旋門賞挑戦は、下の一覧表にあるように約半世紀も前のスピードシンボリから始まって、過去(04015)で執念は悲願に変わり、取りつかれたのではないかと、など冷たい見方もされるが、いよいよファンも馬券で参加する。

馬番(4)マカヒキ(ゲート)番号は馬券と関係ない(は、勝つことができるだろうか。

今年にはロンシャンではなくジャンテイ競馬場。芝もコース形態も日本馬向きで、雨の予報もない。ルメール(6)が乗る。断然人気の英所属ポストボンド(父)は、重賞6連勝(含め「924」)だが、レディングは「124」だ。

ハザンド(英・愛タビビ馬。6戦4勝)と、5回も②着を続ける4歳牡馬フアウンドが122。続いてマカヒキと、キングジョージを逃げ切ったハイランドリールが並んで121。なつきり、全体レベルは高しなかった。フルゲート20頭にも達しなかった。

いま3歳のマカヒキが、オルフェヴルや、ディープブインバ

セントウルS勝ち馬の成績

18年 シーイデオウシウ ⑧着②
19年 サンアディユ ②着①
20年 カノヤザクラ ⑦着⑤
21年 アルティマトウレ ⑤着①
22年 ダッシュヤゴウ ④着⑥
23年 エーシンヴァーゴウ ④着⑦
24年 エビセアロム ④着③
25年 ハクサムン ②着②
27年 アクティブミノル ⑨着⑧
*26年は不出走。(内は人気)

ステップ別の成績

①着馬: ⑧②⑦⑤④⑥④②⑨
②着馬: ①⑩⑩⑦⑤①①⑤⑤
(キーンランドC)
①着馬: ⑥⑧⑧⑤①⑧⑥①①
(北九州記念)
①着馬: ⑩⑨⑨⑨⑨⑨⑨⑨⑨
(アイビスSD)
①着馬: ②⑦⑦⑦⑦⑦⑦⑦⑦
(高松宮記念)
①着馬: ⑨⑨⑨⑨⑨⑨⑨⑨⑨
2着馬: ⑩⑩⑩⑩⑩⑩⑩⑩⑩

海外競馬では馬番とゲート枠番が違おうという点、同じオナーの馬は全て同じ馬番にカップリングされる点、馬体重も調教タイムアメリカではレーシングフォームに掲載も計測されない点。◎▲△といった予想がない点、下見所をぐるぐる廻ってくる点とは限らない点、オナー取りが何時でもスクラッチ(出走取り消し)が可能など多数多、日本の競馬ファンには馬券検討の楽しみが損なわれる面もあるだろうが、基本的な能力を争うのが競馬という考え方なので、遠く日本でも馬券を買うのも現地で買うのも変わらない。ポストボンドの強さはドゥラメンテとの対戦で日本にも良く知られている。タフな血統で連続継続。

本紙飯田記者は「ポストボンドは今回58→56。最大の強敵と負担重量差が3・5キロあるのだから、逆転の可能性十分」

8戦8勝の3歳牡馬ラクレスニエールが回避した。仏オハンド(仏)に地元穴党は注目していたが、ゲート番号⑩を引いてしまいが、フランスは盛り上がりしていないらしい。

出馬表を見ると、ガリレオ産駒が多いのは納得だが、ポストボンドを筆頭に種牡馬ドゥワイ(父)ドバイミレニウム、祖父キングザゴールド、産駒が4頭も出走している。

ドゥワイは昨15年、英愛の種牡馬ランキングはガリレオに次いで2位。種牡馬ランキングでは1位に急上昇している。

直前になって出走しなかった3歳馬ヴェデヴァには最低人気だが、この馬も、仏の伏兵ニユーベ(昨年③着馬)もドバイ産駒である。(柏木)

新潟千四のハイペース

新潟内回り芝千四の特徴は「スタートから3コーナーまでの距離が4コーナーより長いこと。しかもコーナーがタイトなのでスピードを上げにくい。スタートから3コーナーまでの直線ではローペースになってしまいうま挽回の余地がなく、勝ちタイムが遅くなる。

逆に言うと、前半が速ければ全体タイムも速くなる。今年の新潟千四・2歳未勝利は2戦とも1分21秒台と速かったが、ハイペースだった。このパターンだと、差し・追い込みで上位にきた馬は信頼度が下がる。

一方、新潟千四のハイペースで先行した馬は、仮に凡走していても次走で一変することが多い。

ハノハノボーイ(中山1R)のよう距離を短縮してきた場合は特に、ハノハノボーイの母系は北米ダービー血統でもある。ダービーも歓迎。

小本曾大祐

皆さんの興味は凱旋門賞？ スプリングステークス？ まずは目の前の競馬に集中します。

⑩Rスプリングステークスは特殊なGIだと思っていますが、それは時期の問題です。3月末の高松宮記念と、秋初めのスプリングステークスが目標となるスプリングステークス。他のGI路線と違い、夏場を跨ぐことになりま。

この夏場が曲者。上積みは見込みづらく、反動も心配。真夏を使ってきた馬たちは軽視。絶対好調レッドファルクスに。

1、2番手の馬が②③着。先行勢を外から捻じ伏せたCBC賞は、時計・内容ともに◎。直前の追い切りでは、10Rに使っている好調アンアリスを子ども扱い。鋭さと迫力を兼ね備え、本格化モードに突入しています。単勝からの勝負！

藤本貴久の「叩き」

中山7Rアンリキヤトル

夜道を歩いていると前から蛾が。手で掃ったつもりが、アゴにジャストフィットしたよう何の違和感もなくしばらくランデブー。蛾に好かれなくても、心身ともにしっかりとレース安定。今度こそ。

勝利の一手

郡 和之

中山9Rアエロリット

2歳世代の新馬戦が始まって早4ヶ月。全体的に立ち上がりの遅さは否めないが、自分が現場で見たなかで印象が一番強く残っているのが推奨馬のデビュリー戦。ラスト2Fが11秒2→11秒2。これを難なく抜け出すだけではなく、②着馬が迫ればさらにひと伸びという好内容だった。

《拡張率について》

中央競馬における勝馬投票法との拡張率は以下の通りです。

○単勝・複勝: 80・0%

○単連・馬連・ワイド: 77・5%

○馬単・3連複: 75・0%

○3連単: 72・5%

○WIN5: 70・0%

JRA日本中央競馬会